

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

新年を迎えて

校長 藤田 康伸

新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

旧年中は新型コロナウイルス感染症予防対策により、新しい生活様式を踏まえた、近年にない年でしたが、**今年も健康管理に十分気を付け、学校の教育活動については目的を明確にし、精選や見直し**をしながら進めてまいりたいと考えております。

さて、新年といえば目標ですが、本校には「さわやかな子」という特徴的なめざす子ども像があります。その他の「かしこい子」や「たくましい子」は想像が付きやすいように思いますが、**「さわやかな子」とはどのような子どものことでしょうか。**

めざす子ども像

さわやかな子

かしこい子

たくましい子

本校では「さわやかな子」とは「**思いやりと高い感性**をもつ子」「**自他を尊重する言動**ができる子」と捉えています。（見初小学校の教育基本構想より：見初小学校公式ホームページ <http://www3.ube-ygc.ed.jp/mme/>）

「思いやり」のある子はこんな子になって欲しいランキングの上位によく挙がり、保護者の皆様や地域の願いとも一致する子ども像です。

「**高い感性**」の子は、**物事を様々な角度から見たり考えたりする**ことができ、固定観念や先入観にとらわれず自由に物事を想像すると言われています。**AI時代を迎えるであろう未来に、感性は人間だけがもつ強み**であり、自由な想像力を生かした「創造力」はこれからの社会において注目されている力の一つでもあります。

では、そのような感性を育てるためにはどうすればよいのでしょうか。

「**感性**」を育てるためには、「**日常を離れた経験（新しい場所や体験）**」や「**芸術に触れること（価値観を刺激）**」等が挙げられます。本校では体験活動や芸術的活動を重視しており、今年度は「アクトビレッジおの」等を活用した自然体験活動や市のUBEビエンナーレ推進課と連携した彫刻教育を推進しています。

新年を迎えるにあたり、令和3年も予断を許さない状況ですが、コロナ渦でも充実した教育活動となるよう、教職員一同、気持ちも新たに、子どもたちのめざす未来の姿の実現に向けて取り組んでまいりたいと思ひます。

今年も、保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

チャレンジ目標【2020年度】

- ☆ だまってすみずみまで掃除をしよう！
- ☆ 一人ひとりがふわふわ言葉を使おう
- ☆ 自分から元気にあいさつをしよう

校訓
(昭和5年制定)進取 労作
質実 剛健
醇風 美俗◎ 見初っ子宣言 ◎
みんなで思い合い、
めざせ笑顔100%
いじめ0%